雨水流出抑制チェックリスト【　施工編　】

計画に変更が生じた場合は、必ず区へ事前にご確認ください。変更の度合いによっては変更計画書の提出が必要となる場合があります。

工事写真は、雨水流出抑制に係る施設が対象です。以下の項目を確認しながら、区指定の箇所及び頻度に応じ撮影するようにしてください。写真に不備があると、完了届を受けられなくなる場合もありますので、十分にご注意ください。

1　工事にあたっての確認項目（共通）

- □ 工事写真は、適切な頻度で写真管理を実施しているか。※1
- □ 写真撮影の際には、スタッフやリボンテープ等で構造・仕様・寸法が確認できるようになっているか。※2
- □ どこの何の施設を撮影しているのかわかるようにまとめているか。※3

※1　完了届時に提出する工事写真については、以下の頻度で撮影してください。

①浸透桝・浸透トレンチ・浸透側溝

浸透施設の種別ごとに１箇所とします。ただし施工延長の撮影は、浸透施設の埋戻し前に全箇所実施してください。

例）・浸透桝ＰⅢを 10 個、浸透トレンチＴⅡを 20m、浸透側溝を 30m設置する場合

⇒浸透桝ＰⅢで１箇所、浸透トレンチＴⅡで１箇所、浸透側溝で１箇所

・浸透桝ＰⅡを５個、ＰⅣを５個、

浸透トレンチＴⅡを 20m、ＴⅢを 10m設置する場合

⇒浸透桝ＰⅡで１箇所、ＰⅣで１箇所、浸透トレンチＴⅡで１箇所、ＴⅢで１箇所

②雨水貯留槽

原則全箇所撮影してください。

③透水性舗装

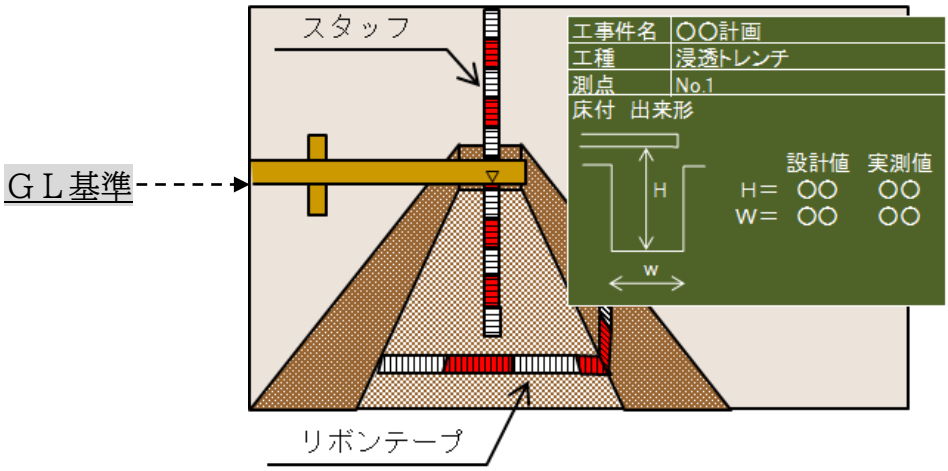
１現場につき１箇所とします。

④裸地、植栽、草地、隣地境界等

箇所ごとに撮影してください。

※2　浸透施設に関しては、施工ステップごとにスタッフ等を当て、寸法が確認できるように撮影してください。延長が長いものは全景がわかる写真、始点・終点の寸法目盛が判別出来る写真の３枚以上を撮影して下さい（３枚は最低限であり、必要に応じて複数枚撮影してください）。寸法目盛が判別しづらいときは、接写する等工夫してください。

＜写真撮影例＞



※３　キープランを作成し、施設に番号を振る等、どの施設を撮影しているのかわかるようにしてください。写真のまとめ方は【Ｐ７参考資料１（写真レイアウト例）】を参考にしてください。

２　浸透施設の確認項目

- □ 表１の撮影項目を撮影できているか。※1
- □ 計画どおりに浸透施設が設置できるスペースが確保できているか。※2
- □ 構造図・計画図のとおりに施工しているか。※3
- □ 床付け面まで施設幅が確保できているか。
- □ 掘削底面や側面に、浸透を阻害する構造物等がないか。
- □ 透水シートが緩んでいないか。
- □ 表面（路面等）を流れる雨水が浸透施設に流入する場合は、ゴミフィルター等を設置しているか。設置状況がわかる写真を撮影しているか。
- □ 掘削時に、地下水が出てきていないか。※4

※１　下記の写真を撮影してください。

表１　浸透桝、浸透トレンチ、浸透側溝

撮影工程	測定箇所	備　考
製品	・内径や幅等構造図記載の寸法	構造図と同等の製品か確認
着手前	（着手前の状況）	
床付け	・深さ（①） ・掘削辺（縦、横）	
しゃ断層用砂	・深さ（②） ・厚み　①－②	説明文に、厚みの計算式を記載

透水シート	（底面まで回っている状況）	
砕石(浸透施設下端)	・深さ(③) ・厚み　②－③	説明文に厚みの計算式を記載
浸透施設本体	・設置状況 ・(浸透トレンチ、浸透側溝の場合）延長	
埋め戻し復旧	・深さ(④) ・厚み　③－④ ・透水シートを側面、上面に巻き込んだ状況	説明文に、厚みの計算式を記載
完了	（工事完了後の状況）	
その他	・(設置した場合）ゴミフィルター設置状況 ・(敷地境界や構造物等に近接している場合）離隔	

※①～④は施工写真確認シート【Ｐ５，６別紙】の番号

※２　現場で浸透施設を設置するための十分なスペースが確保できない場合、計画どおりの浸透能力が計上できない場合がありますので、特に注意してください。

隣地境界や建物駆体からの離隔がわかるようスタッフ等を当てた写真を撮影してください。

※３　施工写真確認シート【Ｐ５，６別紙】などを活用し、構造図・計画図のとおり施工できているか確認をしてください。数値を記載するとともにその都度撮影をすることで、写真の撮影漏れを防止してください。

※４　掘削時に地下水が出てきた場合は、区の担当部署へ速やかにご連絡ください。

３　雨水貯留槽の確認項目

□ 表２の撮影項目を撮影できているか。※1

※１　下記の写真を撮影してください。

表２　貯留槽

撮影工程	測定箇所	備　考
完了	・全景 ※各辺の寸法は必要無し	貯留槽が複数ある場合は、すべて撮影
フロート 電極棒等	・釜場下からの高さ ・ポンプＯＮ,ＯＦＦ水位（２台目も同様）	実際にポンプやバルブが作動する高さまでフロートを持ち上げた高さで

	・（設置した場合）流入遮断弁の開、閉水位 ・（設置した場合）満水警報水位	スタッフを当てて撮影
オーバーフロー管	・管底の高さ	
流入管	・全景	すべての本数がわかるように撮影 ※通気管等、別系統が写り込んでいる場合は、説明文にその旨を記載

4　透水性舗装の確認項目

□ 構造図のとおり施工していることがわかるよう撮影できているか。※1

※1　構造図によって撮影項目が変わります。表３を標準とし、必要に応じて写真の追加・削除をしてください。

表３　透水性舗装

撮影工程	測定箇所	備　考
製品	・ブロック厚等	構造図と同等の製品か確認
着手前	（着手前の状況）	
床付け	・深さ	
しゃ断層用砂	・深さ ・厚み	説明文に、厚みの計算式を記載
砕石	・深さ ・厚み	説明文に、厚みの計算式を記載
透水シート	（設置状況）	
敷き砂	・深さ ・厚み	説明文に、厚みの計算式を記載
透水性舗装	（施工状況）	
完了	（工事完了後の状況）	

5　その他（植栽、裸地、草地、隣地境界等）の確認項目

□ 植栽、裸地、草地について、施工状況写真、完了写真を箇所ごとに撮影しているか。

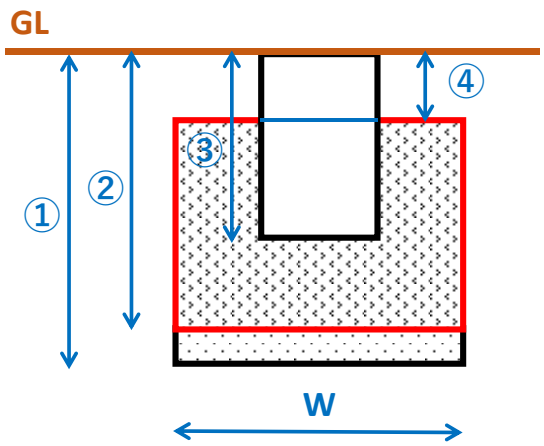
□ 隣地境界に立ち上がりや内勾配、側溝等を設け、敷地外に雨水が流出しないように施工されているか。完成後の状況写真を撮影しているか。

＜施工写真確認シート＞

浸　透　桝　**※GL基準で測定してください**

構造が変わるごとにシートを変えるか、列を増やす

桝番号等記入（キープランの表記と合わせ

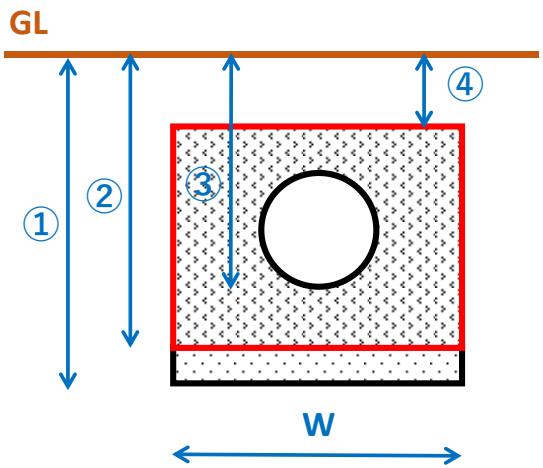


				構造図寸法					
土被り		④	高さ						
砕石	全高	②－④	高さ						
	砕石上端	④	深さ						
	ます下砕石	②－③	高さ						
	ます下端	③	深さ						
透水シート			巻	○					
砂		①－②	高さ						
		②	深さ						
床付け		①	深さ						
		W1	縦幅						
		W2	横幅						

は実測値を記入
は計算値を記入

＜施工写真確認シート＞

浸透トレンチ **※GL基準で測定してください**



構造が変わるごとにシートを変えるか、列を増やす

トレンチ番号等記入（キープランの表記と合わせる）

				構造図寸法					
土被り		④	高さ						
砕石	全高	②－④	高さ						
	砕石上端	④	深さ						
	管下砕石	②－③	高さ						
	管下端	③	深さ						
トレンチ管		延長　L′							
透水シート			巻	○					
砂		①－②	高さ						
		②	深さ						
床付け		①	深さ						
		W	幅						
		延長　L							

は実測値を記入
は計算値を記入

【参考資料１】写真レイアウト例
※（　）はレイアウトの説明です。

	浸透桝①　（←浸透施設の種類） 着手前　（←工種）
	浸透桝①　（←浸透施設の種類） 床付け　（←工種） 深さＨ①：○○○mm　（←実測値） ※ＧＬ基準で測定 掘削辺： 　縦○○mm　（←実測値） 　横○○mm　（←実測値）
	浸透桝①　（←浸透施設の種類） しゃ断層用砂　（←工種） 深さＨ②：○○○mm　（←実測値） ※ＧＬ基準で測定 厚み：Ｈ①－Ｈ②＝○○mm 次ページ接写あり （↑写真で目盛りが判別できない場合は別途接写写真を添付）